

平成 29 年度

# 東京都教職員研修センター紀要

第 17 号

平成 30 年 3 月



## は じ め に

東京都教職員研修センターでは、都内公立学校における教育課程、学習指導等の改善・充実に資するための研究として、毎年、東京都の学校教育が直面する教育課題の解決を図る「教育課題研究」に取り組むとともに、研究の成果を紀要にまとめ、その普及・啓発を図っています。

昨年、小学校、中学校及び特別支援学校小学部・中学部の学習指導要領が告示され、今年度中には、高等学校及び特別支援学校高等部の学習指導要領が告示される予定です。そして、来年度からは、新学習指導要領の全面実施へ向けた移行措置が始まります。今後、今回の改訂の趣旨を教育課程の編成や実施に生かし、子供たちの学びを更に充実したものとするためには、教員一人一人の資質・能力の向上はもとより、各学校が教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質を高めていくことが、これまで以上に求められます。

このような中、当センターでは、今年度、以下の五つの研究に取り組んできました。

『『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業改善－深い学びにつながる授業づくり－』では、児童・生徒に新学習指導要領に示された資質・能力を育むための「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、特に「深い学び」につながる授業づくりについて、その具体的な方法をまとめました。

『『特別の教科 道徳』における評価の在り方－指導方法の改善・充実に向けた取組を通して－』では、「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえた指導方法の改善・充実に向けて、評価の在り方やワークシート・座席表を活用した評価の具体的な方法についてまとめました。

『『小学校における外国語教育の充実－教員の指導力向上のための校内研修プログラムの開発－』では、新学習指導要領への円滑な移行に向けて、教員の指導力向上を図るために、各小学校の外国語教育担当教員が中心となって実施する「外国語教育に関する校内研修プログラム」を開発し、校内研修の具体的方策についてまとめました。

『『特別支援教室と在籍学級とのよりよい連携の構築について』では、巡回指導教員と在籍学級担任との連携を深め、児童・生徒への効果的な支援を実現するための「個別指導計画」や「連携ツール」等の活用及び運用方法の工夫について、事例を収集・分析し、連携の促進・充実や児童・生徒への具体的な支援のための方法についてまとめました。

『『職層に応じた学校マネジメント能力の育成－カリキュラム・マネジメントの視点を生かして－』では、「学校の経営改善の状況等に関する調査」及び「学校マネジメントの状況に関する教員の意識調査」の分析・考察などにより、学校マネジメントに必要な教員の力を明らかにし、その育成方法についてまとめました。

各教育委員会や学校におかれましては、本紀要に掲載した五つの研究の成果を、教育課程の改善や、教員の資質・能力の向上等、教育活動の充実に向けて活用していただければ幸いです。

当センターの教育課題研究の推進に当たり、関係教育委員会をはじめ、検証授業及び調査等に御協力いただいた学校の先生方、多くの御示唆や御助言をいただいた講師の方々に御礼を申し上げます。

平成 30 年 3 月

東京都教職員研修センター所長 出張 吉訓

## 目 次

1 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 ー深い学びにつながる授業づくりー	3
2 「特別の教科 道徳」における評価の在り方 ー指導方法の改善・充実に向けた取組を通してー	41
3 小学校における外国語教育の充実 ー教員の指導力向上のための校内研修プログラムの開発ー	65
4 特別支援教室と在籍学級とのよりよい連携の構築について	93
5 職層に応じた学校マネジメント能力の育成 ーカリキュラム・マネジメントの視点を生かしてー	113
参考文献・資料等	133
研究に携わった所員・助言者・教員研究生・研究及び検証協力校 等	136